

### 3 . 整形外科

#### 1 研修目標

整形外科とは、骨・軟骨・筋・靭帯・神経などから構成される運動器疾患・外傷を対象とし、その原因を解明し治療を行う専門分野です。具体的には、脊椎・脊髄・上肢・下肢・骨盤などを対象とします。近年、社会の高齢化や健康増進習慣などの変化に伴い、変性疾患や骨・関節・脊椎における外傷・スポーツ疾患が増加する傾向にあります。卒後3年目以降の整形外科後期臨床研修プログラムでは、これらの整形外科疾患に対応できる基本的な知識と、診断・治療技術を習得し、病態解明や新しい治療法・治療器具の開発に将来取り組むことのできる知識とアプローチ手法を学ぶことを目標としています。

#### 2 プログラムの概要と特色

卒後3年目からの後期研修プログラムは2～3年間の総合整形外科研修期間と、1～2年間の専門整形外科研修期間からなります。整形外科で研修をされる場合、全般について一定のレベルになるまでは(一般的に整形外科研修を始めて2～3年間)総合的な整形外科研修を行い、その後、整形外科の中の専門分野(脊椎・肩関節・股関節・手の外科・関節リウマチ・膝関節など)について、深く研修してもらいます。総合整形外科研修期間では、主に入院患者を主治医として担当してもらいます。担当患者の検査を行い、手術に参加してもらいます。習熟の程度と手術の難易度により、指導医の元で実際の術者として手術に参加してもらいます。約6ヶ月間病棟主治医を経験した後に、外来診療をしてもらいます。

当院での研修期間中には、関連する研究会・研修会などにも積極的に参加(聴講、発表)してもらい、地域の先生方との交流を深めるとともに、最新の治療を学んでもらいます。

#### 3 後期研修における進路選択

西宮市立中央病院整形外科は、大阪大学整形外科学教室と連絡を取り合って診療・研修・研究を行っています。整形外科は、非常に多くの分野にまたがっているため、西宮市立中央病院整形外科だけでは研修できない分野(骨軟部腫瘍等)があります。このような弱点をカバーするために、後期研修期間にはいくつかの施設での研修を行うという方法があります。大阪大学整形外科卒後研修ネットワークに所属することは、広範囲の分野の知識や技術を習得するために有効な手段です。まず、西宮市立中央病院整形外科で1～2年の後期研修を行った後に、大阪大学のネットワークに参加することも可能です。

後期研修における進路としては、(1)当院での2～4年間の研修、(2)大阪大学整形外科卒後研修ネットワークへの参加(途中からでも可能です)、(3)大学院(博士課程)への進学があります。

##### (1) 当院での研修

上記2のプログラムの概要と特色をご参照ください。

##### (2) 大阪大学整形外科卒後研修ネットワークへの参加(大阪大学整形外科のものを抜粋)

約4年間の後期臨床研修プログラムは、2～3年間の総合整形外科研修期間と、1～2年間の専門整形外科研修期間より構成されます。総合整形外科研修期間では、約80施設の中の1～2施設において、骨折・脱臼などの外傷性疾患や腰痛・関節痛などの一般整形外科疾患を中心に診断・治療手技を体得します。特に、早期から手術等の実践治療手技を身につけることができます。専門整形外科研修期間では、約30施設の中から1～2群を選択し、脊椎、関節、スポーツ整形、手・末梢神経、小児・成長、骨軟部腫瘍、リハビリなど、より専門性の高い診療・治療手技を体得します。高度な医療技術を習得できるとともに、後期臨床研修プログラム以降のサブスペシャリスト研修への足がかりにもなります。

関連病院施設の中からの研修病院の選定は、半年ごとの各研修医の希望調査（ネットワーク会議）をもとに整形外科後期研修委員会で決定いたします。

#### (3) 大学院（博士課程）への進学（大阪大学整形外科のものを抜粋）

後期研修終了後、又は後期研修の途中、2年以上の研修終了後、希望者は大学院研究コース（医学博士号取得）へ進むことができます。大阪大学大学院では、骨・軟骨のバイオロジー（分子細胞生物学、遺伝子改変動物の解析など）、画像解析による運動器キネマティクス、コンピューター支援外科技術の開発、バイオメカニクス、生体材料の技術開発、人工関節の開発、骨・軟骨・靭帯などの再生医療、神経生理学、遺伝子治療、慢性関節疾患（関節リウマチなど）や代謝性骨疾患の分子細胞生物学、骨軟部腫瘍の分子細胞生物学、遺伝性運動器疾患の遺伝子解析など多彩な研究が行われており、大学院の期間中、複数の研究テーマを担当し、それぞれの専門の指導医とともに世界に通用する研究に従事していただきます。

#### 4 日本整形外科学会認定整形外科専門医取得

日本整形外科学会認定整形外科専門医は、日本整形外科学会会員となり、日本整形外科学会の認定施設で臨床研修6年完了後に受験資格が得られます。ただし、卒後初期研修期間2年間は、日本整形外科学会に入会していなくても必要研修期間として申請することができます。したがって、初期研修終了後に当院での後期研修プログラムに参加し、同時に日本整形外科学会に入会すれば、4年後には整形外科専門医の受験資格が得られます。

#### 5 後期研修終了後の進路

本人の希望で選択していただきます。大阪大学整形外科卒後研修ネットワークに所属される場合には、後期研修終了後各人の希望の元に、(1) 大学院研究コース（医学博士号取得）、(2) サブスペシャリティー専門研修（脊椎外科、関節外科、スポーツ整形外科などの専門性の高い領域での研修）、(3) 地域医療コース（関連病院、開業などで一般整形外科診療の継続）などを選択し、研修を進めていただきます。

#### 6 リンク

大阪大学医学部整形外科学教室 <http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/ort/www/index.html>